

学校関係者評価委員会議事報告書

関西医療学園専門学校 理学療法学科

1. 第1回委員会（令和5年7月1日（土）13時30分～14時40分／オンライン会議）

出席者

委員 杉田士（医療法人良秀会リハビリテーション科長）、熊崎大輔（公益社団法人大阪府理学療法士会々長）、明比大（関西医療学園専門学校校友会々長）

本校 西守隆（学科長）、奥田典生（事務室長）、保田年章（学務課長補佐）

欠席 塔本栄一（医療法人守田会いぶきの病院事務長）

議事内容

本校より自己点検・評価に係る本委員会編成の趣旨及び今後のスケジュールと本年度から指導ガイドラインに基づき、ホームページ上に学科単独の自己点検結果を公表したことについて説明を行った。これに伴い、第三者評価の受審が努力義務に変更されたが、本校は継続して受審する方針であり、次年度が更新審査の受審年であるので各委員の方々にも種々ご意見をお願いしたい旨を併せて説明した。

本年度の自己点検結果については、8月末日迄にご意見をお願いすることとした。

2. 第2回委員会（令和6年1月20日（土）13時30分～14時30分／オンライン会議）

出席者

委員 塔本栄一（医療法人守田会いぶきの病院事務長）、杉田士（医療法人良秀会リハビリテーション科長）、熊崎大輔（公益社団法人大阪府理学療法士会々長）、明比大（関西医療学園専門学校校友会々長）

本校 西守隆（学科長）、奥田典生（事務室長）、保田年章（学務課長補佐）

議事内容

本年度の自己点検報告書について、各委員から、社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神を備えた有為なセラピストを数多く輩出することがの養成施設の目的であり、役割であることと考えるので、留年率・退学率の低減に努めて頂きたい旨の意見が付された。また同じく次年度の教育評価の受審においても同様の取り組みを行っていることを示すことが望ましいとの意見を頂いた。

特に3年次の原級留置が多数あったことについては、教務委員会の審議を経て、教師会において慎重に卒業判定を行った結果であること、また就職内定先への説明等に関し、各委員の理解を得るところとなった。

学校関係者評価委員会議事報告書

関西医療学園専門学校 歯科衛生学科

1. 第1回委員会（令和5年9月16日（土）15時30分～16時30分／オンライン会議）

出席者

委員 塔本栄一（医療法人守田会いぶきの病院事務長）、赤松明日香（公益社団法人大阪府歯科衛生士会大阪東支部長）、明比大（関西医療学園専門学校校友会々長）

本校 藤川圭子（学生主任）、奥田典生（事務室長）、保田年章（学務課長補佐）

議事内容

- （1）自己点検・評価に関して、本委員会の役割について本校から説明を行い、カリキュラム内容の点検と入学から卒業までの生徒に対する教育全般を中心に、学科運営をよりよくするための建設的な意見を求めることを確認した。
- （2）教育実施状況について、学科開設年度からカリキュラムに従って消化されている旨報告があった。
- （3）教育効果については、今後検討する必要がある旨の意見が出され、特に、臨床に即した教育内容であるか点検していく必要があることを確認した。

2. 第2回委員会（令和6年3月15日（金）15時30分～16時30分／オンライン会議）

出席者

委員 塔本栄一（医療法人守田会いぶきの病院事務長）、赤松明日香（公益社団法人大阪府歯科衛生士会大阪東支部長）、明比大（関西医療学園専門学校校友会々長）

本校 藤川圭子（学生主任）、奥田典生（事務室長）、保田年章（学務課長補佐）

議事内容

- （1）令和5年度の授業実施状況、定期試験成績状況、休退学数について学校側から説明を行った。委員からは、歯科衛生士の社会的使命や卒業後の臨床現場のイメージを1年次から授業内で具体的に示すことなど、修学意欲を向上させる取組みについて意見が出された。学校側からは、大阪府歯科衛生士会会長による特別講義や歯科関連企業の講師による実習などを現時点で行っているとの説明があり、次年度も継続し、内容については生徒のモチベーションに働きかけるような内容であるか点検する旨回答があった。
- （2）令和6年度入学生の募集状況について学校側から報告があり、各委員からは継続して確実に定員を充足できるよう期待が示された。
- （3）次年度に完成年度を迎えるにあたり、委員から臨地・臨床実習の今後の予定について質問があった。学校側からは、本年度の病院歯科口腔外科及び歯科診療所での臨床実習に加え、次年度からは大学病院での実習が新たに加わること、保健センター、幼稚園、保育園、介護老人保健施設、支援学校等での臨地実習を行う予定であることが説明された。